

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

高知県 土佐清水市

自治体名：高知県土佐清水市

担当課名：生涯学習課

電話番号：0880-87-9133

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	266.5 km ²
人口	11,973 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	174 人
部活動数	11 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市では、令和4年度に2部活動を地域移行、令和5年度は地域移行が3部活動となり、また地域連携として2部活動を実施してきた。令和6年度は、地域移行が2部活動、地域連携は3部活動で活動している。

事業を実施するにあたり関係機関での意見交換の場として、検討・運営会議を年3回開催している。この検討・運営会議では、中学校・市教育委員会・地域スポーツクラブ・部活動指導者・スポーツ推進委員等を委員として、課題を整理し今後の部活動の方向性について協議している。

課題としては、指導者の後継者不足の問題、予算上の問題、地域クラブでの指導者資格の問題、

部活動加入者の減少による部活動自体の存続の問題も挙げられた。また、中学校で継続してきた部活動を高校でも継続ができるよう、今後においては高校とも連携した活動を検討していく必要がある。

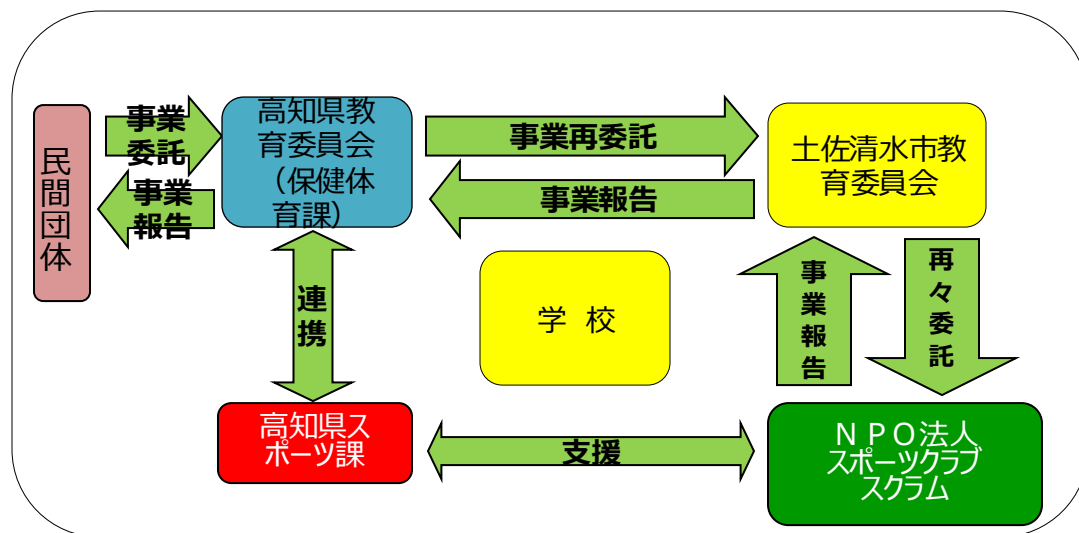
硬式テニスについては、令和6年度より高校に硬式テニス部を発足させ、中学生と高校生と一緒に練習を行うなど、連携した取り組みができている。

子ども達が幼い頃から続けてきたスポーツを中学校・高校に進学しても継続ができるよう、その可能性を最大限に広げることができる持続可能な取組を、本市として今後も施していかなければならない。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎高知県教育委員会事務局（保健体育課）
委託先

◎土佐清水市教育委員会（生涯学習課）
再委託先

年間の事業スケジュール

令和6年5月 ・中学校における実施準備

6月 ・部活動地域連携・地域移行開始

8月 ・高知県 第4回地域移行検討部会

9月 ・地域連携・地域移行を検討する協議会の開催①

11月 ・地域連携・地域移行を検討する協議会の開催②

・国の実証事業 中間検査

令和7年1月 ・地域連携・地域移行を検討する協議会の開催③

・高知県 第5回地域移行検討部会

・部活動地域連携・地域移行終了

・成果報告書 提出

2月 ・高知県 部活動の地域連携・地域移行に係る報告会

・国の実証事業 決算報告

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	2 人	全体の運営スタッフ数	4人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
清水中学校	NPO法人スポーツクラブスクラム	バドミントン	月 4 回／ 週 1 回（など）	16：30 ～ 18：30	1年生 1名 2年生 4名 3年生 2名	令和 6 年 6 月から 令和 7 年 1 月	市民体育館	1 人	3 人	月会費 500 円／月 (6,000円)	中体連：地域クラブ
FSS	NPO法人スポーツクラブスクラム	硬式テニス	月 4 回／ 週 1 回（など）	17：30 ～ 19：30	3年生 1名	令和 6 年 6 月から 令和 7 年 1 月	総合公園 テニス場 他	1人	1 人	月会費 0 円 年会費 10,000円 (など)	中体連：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 県補助金の子どものスポーツ環境整備事業を活用し、幼児から高校生を対象に硬式テニスや卓球の体験教室を実施した。

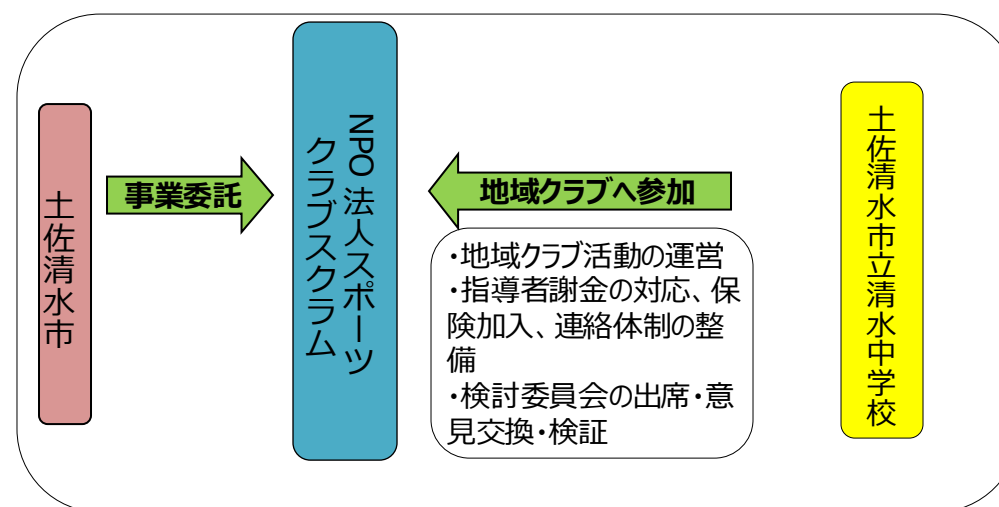
2.実証内容と成果

主な取組例

●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン、硬式テニス
運営団体名	NPO法人スポーツクラブスクラム
期間と日数	バドミントン：6月1日～翌年1月31日 月4回程度 硬式テニス：6月1日～翌年1月31日 月4回程度
指導者の主な属性	クラブ指導者
活動場所	市民体育館・総合公園テニスコート他
主な移動手段	徒歩・自転車等
1人あたりの参加会費等（年額）	硬式テニス：10,000円 バドミントン：6,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

NPO法人スポーツクラブ スクラム

●事務局長 1名

役割：クラブ運営の統括を行う

●スクラム職員 2名

役割：地域で行われるスポーツイベントや、健康教室の企画・運営を行う

●コーディネーター 1名

役割：主に地域クラブ活動と教育委員会や役場との調整を行う

●クラブ指導者 2名

役割：地域クラブの生徒への指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・委員が集まりやすい時間帯と曜日を設定し、参加しやすい日程調整を行った。
- ・課題を対策に生かす協議を行った。
- ・地元高校との連携に向けた協議を実施した。

取組の成果

- ・活動指導員、中学校、スポーツ推進委員・スポーツ少年団代表者、市教育委員会、県教育委員会、NPO法人スポーツクラブスクラム等、部活動に係る関係者が集まり、現状課題を出し合いながら解決方向に向けて協議を行った。
- ・国制度の方向性やそれに対する予算状況について情報共有を行った。

コーディネーターの具体的な動きの実績

地域部活動コーディネーターを中心に、運動部活動の地域移行後の体制整備、地域連携・地域移行に向けての協議を実施した。検討・運営会議を年3回実施し現状と課題の共有を行った。

今後の課題と対応方針

課題としては、指導者の後継者不足の問題、予算上の問題、全国中学校体育大会における指導者資格の問題、部活動加入者の減少による部活動自体の存続の問題がある。

また、中学校で継続してきた部活動を高校でも継続ができるよう、今後においても高校と連携した活動を検討していく必要がある。

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者研修の内容

部活動指導員が、県主催である令和6年度運動部活動指導員研修会のオンデマンド配信を受講した。

講演：「選手のやる気を引き出すメンタルトレーニング」

講師：大阪体育大学教授 土屋 裕睦

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 令和6年10月27日
- ・開催回数： 1回
- ・参加人数： 4人

開催日には、大会等の日程が重なり現地で参加ができなかったため、後日オンライン受講で対応した。

受講者の声

受講者からの意見として、生徒への声掛け次第で意識向上につながる、ティーチングとコーチングの違いについて考えさせられたこと、指導者として日々学び続けることが大切だという意見があった。

また、生徒の内発的動機付けを大切にしたい指導とはどうあるべきかなどについても深く学んでみたいとの意見もあった。

今後の課題と対応方針

部活動指導員が指導の在り方について、日々課題に感じている事を解消できるような研修を、市としても、関係機関と協力をしながら実施に向けて取り組んでいきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・地域部活動コーディネーターが中心となり、中体連の手続き等の対応を実施した。
・学校教育係と連携し、大会等の市のマイクロバス利用について円滑に進めた。

取組の成果

・地域部活動コーディネーターと連携し、地域移行・地域連携部活動の情報共有ができた。
・市外の大会は、市のマイクロバスを利用し生徒を送迎した。
保護者の負担軽減につながった。

バス等の運行実績

・日数 2日
・利用者数 20人
・運行経路
高知市

バス等の運航経費・収入

・人件費
運転手賃金 時給2,100円
(学校教育係 予算対応)

今後の課題と対応方針

運転手の雇用が必要となるため、人材確保が課題である。

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

近隣市町村との連携実施

幡多地区の6市町村が集まる「部活動に関わる意見交換会」(R5年度2回実施)にて、近隣市町村の取組状況について情報共有を図り、連携できる内容について協議した。

また、県の会議へ委員として参加し、他地域の取組状況を踏まえ、課題や成果を共有した。

取組の成果

本市の地域クラブに他市町村から参加している生徒もいることから、活動に係る費用負担などを含め、近隣市町村との連携を図った。

また、県教育委員会から検討会へ参加してもらうなど、県とも協力しながら取組を行った。

土佐清水市には1中学校しかなく、隣の中学校まで自動車でも1時間程度かかるため、今後は連携の在り方について検討が必要である。

今後の課題と対応方針

地理的な特徴から、他の市町村との連携には移動や費用等の課題があるため、今後も県や近隣市町村との連携を継続して図っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

地域移行部活動の終了後、練習場所（社会体育施設）からのスクールバス送迎を実施した。

取組の成果

生徒の安全面を考慮し実施できたことで、保護者の安心感にも繋がった。

令和4年度実施アンケートより、保護者からの子どもの送迎について、「スクールバスを活用し、子どもの安全面を考慮してほしい。」との意見が複数あり、教育委員会内で協議した結果、帰りの送迎を令和5年4月より実施した。

活動の詳細

参加人数	3 人	指導者数	0 人
属性	中学生		
具体的な内容	学校から練習場所まで徒歩約 15 分の距離を、スクールバスを活用し部活動終了後に学校まで送迎している。		
関係者の声	指導者より、特に冬場などは道が暗く危険であるため、生徒の安全面を考慮し、送迎があるのは安心であるとの意見があった。		
運営経費	スクールバス経費（教育委員会の学校教育係予算）		



今後の課題と対応方針

学校から練習場所までの送迎についても今後の検討課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

自治体負担分として生徒と指導者の保険料を負担した。また、利用施設の減免を行った。



取組の成果

部活動において生徒と指導者の補償と安全を考慮し、スポーツ安全保険の加入料を自治体負担とした。

保険料 生徒9名、指導者8名

他市町村からの参加生徒についての保険料も対象とした。

今後の課題と対応方針

今後においても、生徒と指導者が安心安全な部活動ができるよう市としてバックアップしていく必要がある。

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

地域連携2部活動（卓球部、サッカー部）についても、地域移行に向けて引き続き取組を行う。

取組の成果

各部活動において、学校と地域の指導者が連携、協力できたため、地域連携（部活動指導員）として活動することができた。

今後は指導者の複数体制の構築や後継者の育成を目指す。

今後の課題と対応方針

令和6年度の地域連携部活動はソフトテニス部を含め3部活であったが、年度途中で指導者の退職のため2部活となった。今後においては、指導者の後継者問題をどう進めていくのが課題となっている。



指導者の属性や配置の工夫

部活動の指導者に、検討会の委員となってもらい、現状や地域移行に向けた課題について協議した。

各指導者とも、学校、総合型地域スポーツクラブ、市教育委員会と連携を図り活動を行った。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本市では、令和4年度に2部活動を地域移行、令和5年度は地域移行が3部活動となり、また地域連携として2部活動を実施してきた。令和6年度は、地域移行が2部活動、地域連携は3部活動で活動している。事業を実施するにあたり関係機関での意見交換の場として開催している検討・運営会議では、指導者の後継者不足の問題、予算上の問題、地域クラブでの指導者資格の問題、部活動加入者の減少による部活動自体の存続の問題など、いくつかの課題点が挙げられている。

地域移行・地域連携の目的として、教員の働き方改革であるとともに、子ども達が幼い頃から続けてきたスポーツを中学校・高校に進学しても継続ができるよう、その可能性を最大限に広げることができる持続可能な取組を、本市として今後も実施していかなければならない。

そのためにも、県・市・教育機関・スポーツクラブ等の関係機関と協議し課題解決に向けて取り組んでいかなければならない。

●成果の評価

令和4年度より実施している検討・運営会議には、今年度より清水高校も委員として新たに加わり、課題点を共有しながら協議している。硬式テニスにおいては、今年度より、中学校を卒業した地域クラブの生徒を中心に硬式テニス部が発足し、インターハイに出場することを目標に、各大会において好成績を収めている。

高校生と練習を共にする中学生も先輩の姿を追いながら日々の練習に励んでおり、地元の中学校から高校に繋げる取り組みが部活動の地域移行を通して実施することができている。

●今後に向けて

令和7年度より高校が高台移転し中学校と隣接することから、部活動においてもより連携した取り組みが期待される。地元で継続したスポーツ活動ができるよう、今後においても関係機関で協議を重ね、検討していかなければならない。部活動加入者の減少という点では、幼い頃からスポーツに触れる機会の提供を今後も地域スポーツクラブと連携して取り組み、将来的な競技人口増加をめざすとともに、スポーツ強化の地域として、本市への転入者増加となるような人口減少対策にも結び付けていきたい。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

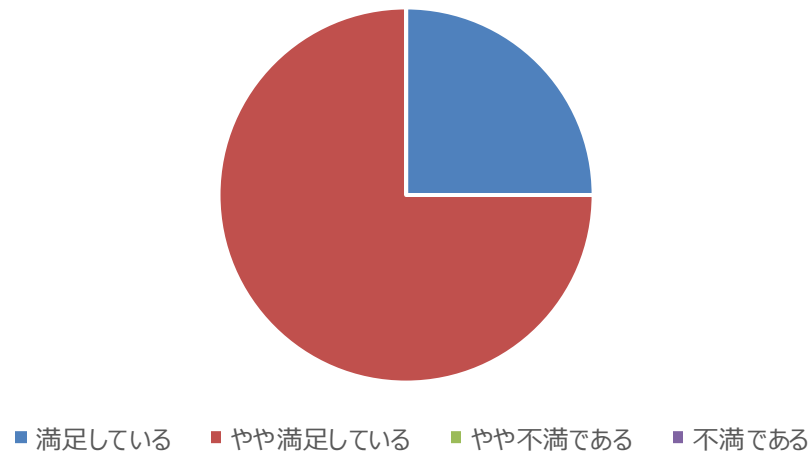
●アンケート結果

部活動地域移行に関するアンケート調査結果（概要）

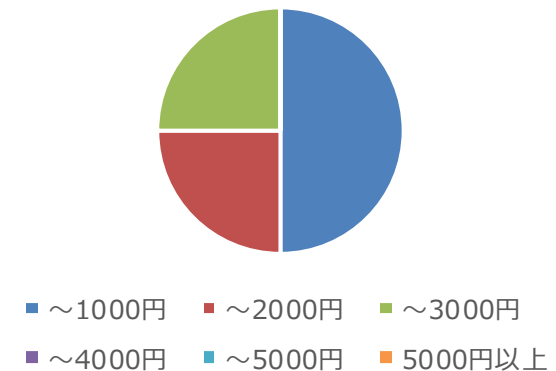
- [目 的] 部活動の地域移行の必要性、課題、対応の方向性を検討するにあたり、その基礎データとなる児童生と・保護者・教職員の意向を捉える。
- [調査期間] 令和6年12月27日～令和7年1月14日
- [対 象] ① 地域移行実証事業対象部活動保護者
② 地域移行実証事業対象部活動生徒
③ 地域移行実証事業対象部活動に関わった学校

保護者のアンケート結果

お子様が地域クラブに参加してどうでしたか



地域クラブにかかる月の費用はどのくらいですか



●保護者の声

Q 地域クラブ活動に参加した理由を教えてください

- 学校部活動より専門的な指導が受けられる
- 他の学校の友達と一緒にできる
- 小学校から継続して地域クラブで活動している

Q 地域クラブ活動に所属して良かったことを教えてください

- 専門的な指導を受けることができた
- 希望する種目を小学校から続けられた
- レベルにあった指導を受けられた

Q 地域クラブ活動に所属して悩んだことや困ったことを教えて

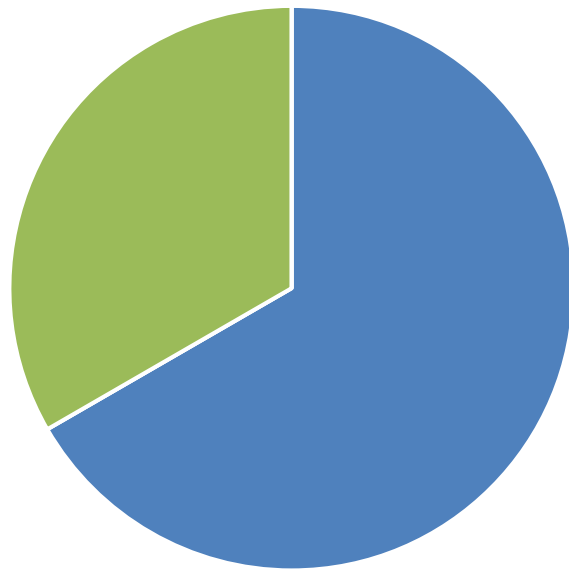
- 活動場所への移動
- 個人の金銭的負担が大きい
- 指導者との人間関係
- 他校の部員との人間関係

2.実証内容と成果③

アンケート結果・参加者の声

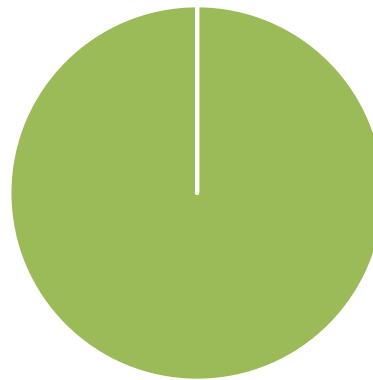
生徒のアンケート結果

地域クラブに参加してどうでしたか



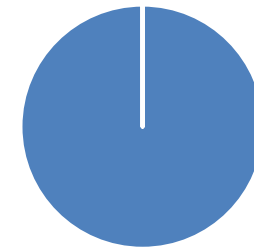
■ 満足している ■ やや満足している
■ やや不満である ■ 不満である

現在の地域クラブ活動での活動状況
(練習時間・練習日数) について教えてください



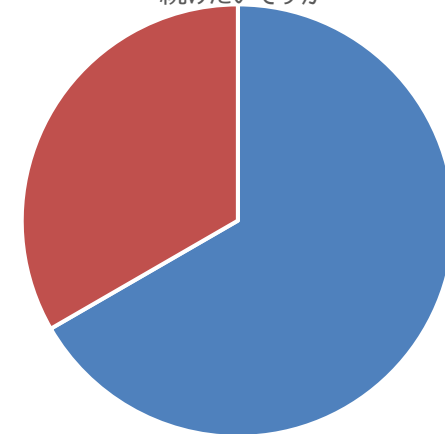
■ 多い ■ やや多い
■ 適度 ■ やや少ない
■ 少ない

中学校卒業後、現在活動している種目について教えてください



■ 続ける ■ 続けない ■ 分からない

「続ける」と回答した人はどの地域で現在の活動を
続けたいですか



■ 市（町）外の高校で続けたい
■ 地元の高校で続けたい

2.実証内容と成果④

アンケート結果・参加者の声

●生徒の声

- Q 地域クラブ活動に参加した理由を教えてください
- 学校部活動より専門的な指導が受けられる
 - 中学校に希望する種目がない
 - 小学校から継続して地域クラブで活動している

- Q 地域クラブ活動に所属して良かったことを教えてください
- 専門的な指導を受けることができた
 - 自分のレベルにあった指導を受けられた

- Q 地域クラブ活動に所属して悩んだことや困ったことを教えてください
- 活動場所への移動
 - 指導者との人間関係
 - 部員との人間関係

- Q 地域クラブ活動の練習場所へは、主にどうやって移動しているか教えてください
- 保護者の送り迎え
 - 自転車か徒歩

●学校の声

- Q 地域クラブ活動の取組を始めた理由を教えてください
- 教員の働き方改革のため
 - 生徒の活動機会を確保するため
 - 市教育委員会や地方自治体からの働きかけ

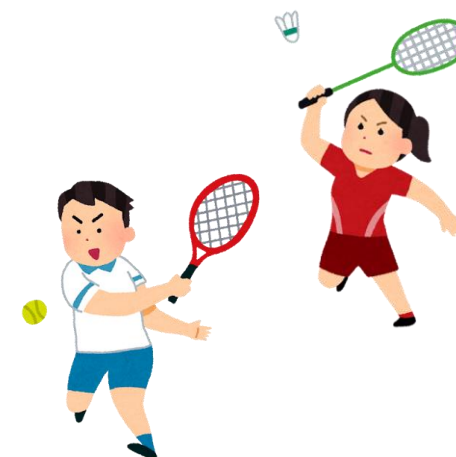
- Q 実際に地域クラブ活動を行った結果、教員の働き方改革につながっていますか
- やや働き方改革につながっている。理由は、部活動を行っている時間に教材研究や校務分掌等に取り組むことができるから

- Q 学校と地域クラブ（運営団体）で連携は図っていますか
- 図っている。定期的に検討・運営会議を開催し、情報共有を行っている

- Q 地域クラブ活動を行って、具体的に良かったことは何ですか、教えてください
- 教員の負担が減った
 - 生徒が意欲的に取り組むようになった

- Q 地域クラブ活動について、現在感じる課題は何ですか
- 生徒の活動や活躍が伝わりづらい

- Q 地域クラブ活動における、今後に向けての要望がありましたら教えてください
- 連絡系の先生の配置もなくしてほしい
 - 他の部活動も地域移行をしてほしい



2.実証内容と成果⑤

広報資料

スポーツクラブスクラムでは、子ども達がスポーツに興味を持つきっかけづくりとして、幼児から高校生を対象に各種目の体験教室を開催している。硬式テニス・バドミントンにおいても体験教室を開催するなど、将来的な部活動加入者の増加が期待される。

子ども達のスポーツ体験教室開催中！
硬式テニス・バドミントン・サッカー・野球・水泳・剣道・柔道・空手・少林寺流など、様々なスポーツの体験教室を開催中！
体験教室は、子ども達がスポーツに興味を持つきっかけづくりとして、幼児から高校生を対象に開催している。将来的な部活動加入者の増加が期待される。

総合型地域スポーツクラブ
特定非営利活動法人
スポーツクラブ スクラム
会報 2024.10.1[105号]

スクラム会員状況 (令和6年4月末現在)
■ジュニア (中学生まで) 176名
■ハイスクール (高校生) 14名
■シニア (60歳以上) 147名
■総計 337名
■助 (企業・団体) 20団体

総合型地域スポーツクラブ
特定非営利活動法人
スポーツクラブ スクラム
会報 2024.7.1[104号]

令和6年度 スポーツクラブスクラム 加入クラブ一覧

No.	加入クラブ名	加入人数	加入時期	加入理由
1	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
2	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
3	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
4	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
5	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
6	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
7	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
8	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
9	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
10	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
11	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
12	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
13	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
14	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
15	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
16	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
17	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
18	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
19	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
20	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
21	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
22	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
23	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
24	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
25	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
26	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
27	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
28	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
29	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
30	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
31	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
32	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
33	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
34	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
35	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
36	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
37	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
38	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
39	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
40	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
41	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
42	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
43	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
44	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
45	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
46	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
47	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
48	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
49	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
50	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
51	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
52	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
53	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
54	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
55	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
56	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
57	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
58	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
59	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
60	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
61	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
62	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
63	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
64	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
65	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
66	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
67	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
68	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
69	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
70	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
71	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
72	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
73	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
74	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
75	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
76	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
77	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
78	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
79	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
80	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
81	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
82	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
83	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
84	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
85	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
86	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
87	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
88	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
89	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
90	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
91	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
92	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
93	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
94	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
95	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
96	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
97	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
98	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
99	東京都立大付属中学校	10名	令和6年4月	部活動加入者
100	東京都立大付属高等学校	10名	令和6年4月	部活動加入者

スクラム会員状況 (令和6年4月末現在)
■ジュニア (中学生まで) 176名
■ハイスクール (高校生) 14名
■シニア (60歳以上) 147名
■総計 337名
■助 (企業・団体) 20団体

スポーツクラブスクラムの広報誌



出典:NPO法人スクラムHPより

2.実証内容と成果⑥

参考資料（活動写真）



【硬式テニス】



【バドミントン①】



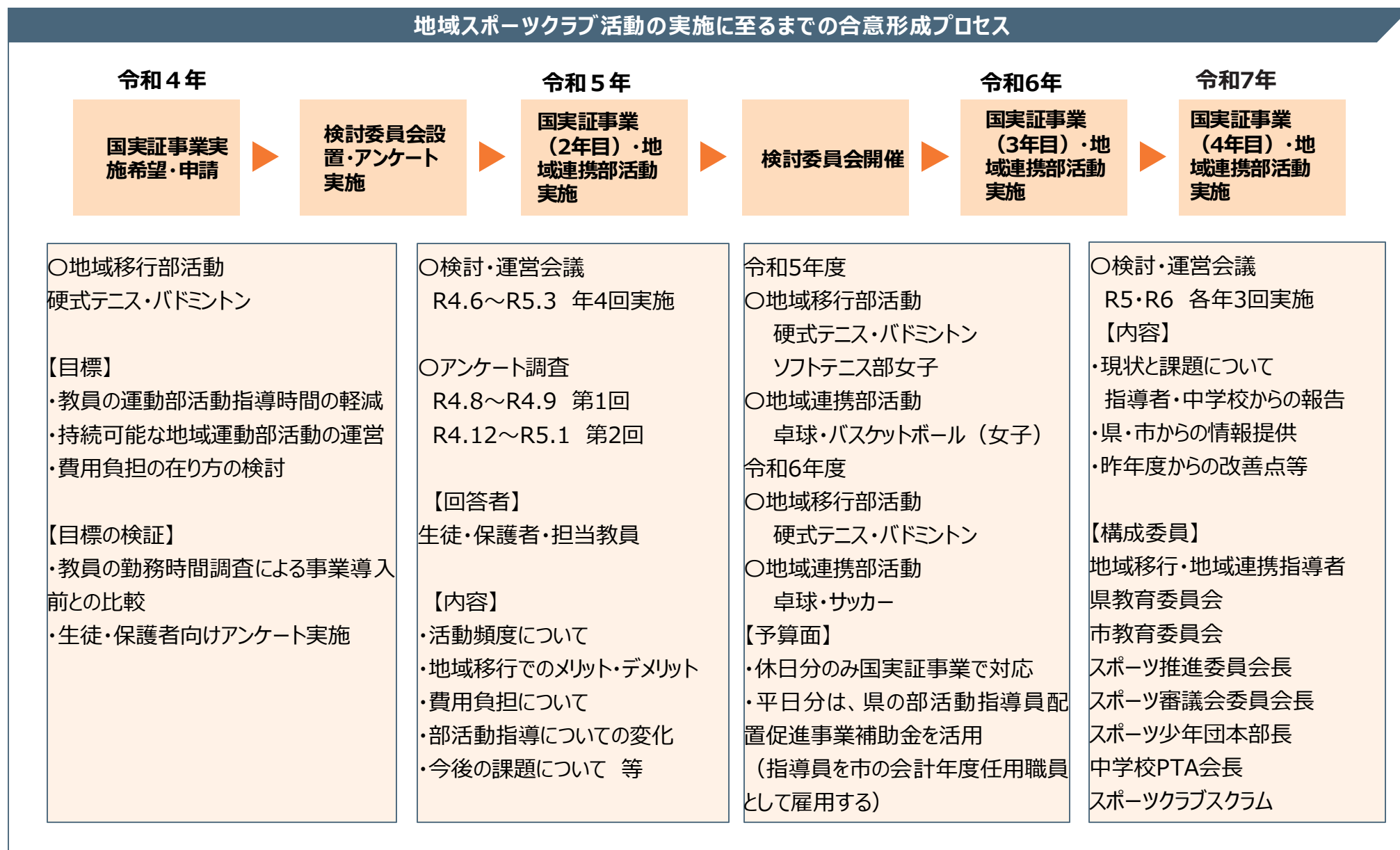
【バドミントン②】



【バドミントン③】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3.今後の方向性①

土佐清水市立清水中学校における部活動改革の取組について

清水中学校

学校部活動



陸上部

野球部

合同チーム
(大月中)

バスケット
ボール部

合同チーム
(男子：東中)
(女子：県立中、宿毛)

バレーボール部

サッカー部

合同チーム
(片島中)

卓球部

ソフトテニス部

バドミントン部

テニス部

地域連携

第75回県中学校
野球選手権大会
(R6.820)
優勝

拠点校部活動
(男子：中村中へ参加)

部活動指導員

部活動指導員

部活動指導員

部活動指導員
(平日)

部活動指導員
(平日)

地域移行



地域クラブ活動
(休日)

地域クラブ活動
(休日)

高校との連携



清水高校との連携

3.今後の方向性②

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ					
	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	R 8
NPO法人スポーツクラブスクラム	○地域移行部活動 (硬式テニス・バドミントン)	○地域移行部活動 (硬式テニス・バドミントン・ソフトテニス女子)	○地域移行部活動 (硬式テニス・バドミントン)	○地域移行部活動 (硬式テニス・バドミントン)	休日の運動部活動を完全に地域移行
	スポーツハブ事業：子どものスポーツ環境整備推進事業等県補助金を活用した、子どもたちが幼いころからスポーツに触れ合える環境づくりを通して、将来の部活動の部員減少を防ぐことに繋げる				
	モデル事業				
	地域移行・地域連携部活動の推進				
土佐清水市教育委員会 (生涯学習課)	○検討・運営委員会の設置 ○生徒・保護者・教員へのアンケート調査実施	○地域連携部活動 (卓球・バスケ女子)	○地域連携部活動 (卓球・サッカー・ソフトテニス) ○その他の部活動の地域連携・地域移行についても協議していく	○地域連携部活動 (卓球・サッカー) ○その他の部活動の地域連携・地域移行についても協議していく	
	モデル事業終了後の地域移行継続に向けての予算化、県補助金等を活用した地域連携部活動の予算化、指導員不足に対する対策等を通して、子ども達の持続可能なスポーツの継続をめざす				
高知県立清水高等学校		○高校の校舎移転に合わせて清水中と定期的な意見交流	○検討・連携部会へ参加 ○硬式テニス部創設 (中学校地域クラブと連携、合同練習)	○R7.4月校舎移転予定(中学校と隣接) ○中高連携の部活動を協議していく ○硬式テニス部(中学生と連携)	